

病害虫防除技術情報第 8 号

平成 24 年 6 月 28 日
三重県病害虫防除所

葉いもちの初発が確認されています。補植用置き苗を処分して、早期発見・早期防除に努めましょう。

1. 対象作物： イネ
2. 対象病害虫名： いもち病（葉いもち）
3. 発生状況

1) いもち病発生予測支援システム（プラスタム）によると、感染好適条件は 6 月 10 日から 13 日にかけて県内の広い範囲で出現以降、6 月 17 日（南伊勢、尾鷲、熊野新鹿）、25 日（四日市、粥見、紀伊長島）、26 日（紀伊長島、尾鷲、熊野新鹿）に繰り返し現れています。

2) 広域での初発が予想された 6 月 25～26 日に現地調査（13 地点 49 圃場）を行ったところ、9 地点 17 圃場で初発が確認されました。発生圃場では感染力の強い急性型病斑が認められ、補植用置き苗で激しく発病している圃場もありました（写真）。

3) 1 か月予報（6 月 22 日・名古屋地方気象台発表）によると、向こう 1 か月は平年と同様に、曇りや雨の日が多い見込みであり、感染に好適な気象条件が今後も続くと予想されます。



写真左 補植用置き苗における発病（6 月 15 日・松阪市嬉野下之庄町）

写真右 同圃場の本田における発病の様子（6 月 25 日・発病株率 0.3%）

4. 防除上の注意事項

- 1) 圃場の点検を行い、発生を確認した場合は早急に防除を行いましょ。
- 2) 補植用置き苗での発病が目立っています。発生源となりますので速やかに処分してください。
- 3) 育苗箱施用による防除を行った圃場でも、残効の低下を考慮して発生状況を確認しましょ。
- 4) 葉いもち対象の予防粒剤は、各薬剤に示されている散布適期を逃さないよう注意しましょ。
- 5) 今後、発生が目立つ場合は液剤、粉剤での予防を行いましょ。
- 6) 雨天が続く可能性があるため、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除を行いましょ。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。